

## Q & A

Q よく「個別の指導計画」と「個別の教育支援計画」という言葉を聞きますが、どのように違うのですか。

A 「個別の指導計画」は、学級担任が中心となって、一人一人に応じた個別の指導目標を設定し、指導や支援を組織的・計画的に行うために作成します。一方、「個別の教育支援計画」は、子どもに関わる関係者・関係機関が共通理解の下、連携して支援を行うために作成します。

関係者・関係機関がそれぞれ異なる目標で支援を行うと、子どもと保護者は戸惑い、支援の効果も上がりません。また、子どもが成長するにつれて、関係者・関係機関や支援のニーズが変わることから、現在行っている支援を引き継いだり、見直したりするツールとしてあるのが「個別の教育支援計画」です。

Q 「個別の教育支援計画」を作成したいのですが、保護者の同意が得られないときはどうすればよいですか。

A 「個別の教育支援計画」の作成が進まない原因の1つに、保護者の同意が得られないことが挙げられます。保護者の発達障害への理解や我が子の実態への認識が十分でないなど、同意を得られない場合は、校内でできる支援方法を検討し支援を進めていきます。それと並行して、保護者に対しては、学校での支援の経過や成果について説明したり、この「手引」の各校種の事例にある「個別の教育支援計画を作成・活用するメリット」を伝えたりしながら、粘り強く話し合いを継続していくことが大切です。

Q 特別支援教育コーディネーターをやっています。校内委員会を開催したいのですが、忙しくてメンバー全員が集まれないときはどうすればよいですか。

A 校内委員会を行う際、会議の関係者全員がそろうことは、困難であると予想されます。ですから、当該の子どもに必要なメンバーを招集し、内容の検討を行いましょう。他のメンバーには、後から書面等で情報の共有を図るなど、機能的な取組ができるよう工夫することが大切です。